

市町村名	事業実施主体名	メニュー① (対象作物・畜種等名)①	事業実施後の状況①						メニュー② (対象作物・畜種等名)②	事業実施後の状況②						事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分 (円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考		
			計画時(平成29年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率		計画時(平成29年)	1年後(平成30年)	2年後(令和元年)	3年後(令和2年)	目標値(令和2年)	達成率			交付金	都道府県費	市町村費	その他						
																										成果目標の具体的な内容①	成果目標の具体的な実績①
国東市	上原農園株式会社	野菜(水耕ねぎ)	10aあたり収量 12,916kg/10a 収量 154,998kg 面積 12,000㎡	10aあたり収量 11,494kg/10a 収量 137,934kg 面積 12,000㎡	10aあたり収量 12,606kg/10a 収量 213,209kg 面積 16,914㎡	10aあたり収量 18,128kg/10a 収量 306,617kg 面積 16,914㎡	10aあたり収量 15,500kg/10a 収量 262,167kg 面積 16,914㎡	201.7%	10aあたり収量は18,128kg/10aとなり、計画時より40.4%増加した。	▼【野菜】▼(加工向け・外食・中食向けの割合)▼加工向け・外食・中食向けの割合を47%以上(25ポイント増加)とする。	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 21.6%	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 21.6%	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 52.6%	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 47.3%	全出荷数量に占める加工向け又は中食・外食向けの割合 47.0%	101.2%	加工向け出荷の割合は47.3%となり、計画時より25.7ポイント増加した。	生産技術高度化施設(低コスト耐候性ハウス)1棟 4,914㎡ 養液栽培装置自動カーテン装置 集出荷時蔵施設1棟 240㎡ ねぎ皮剥き設備一式 ベルトコンベア一式 結束設備一式 包装設備一式 予冷設備一式	230,274,965	106,608,000	26,652,000	26,654,000	70,360,965	R1.3.29	作業性を向上させたことで、栽培計画以上の収量結果となった。また、契約栽培とすることで加工向け出荷を順調に伸ばせた。いずれの目標も達成することができた。	計画的に栽培、販売を行ったことから目標達成された。	
宇佐市	(株)安心院オーガニックファーム	野菜(ベリーフ)	10a当たり収量 3,781kg/10a 収量 52,947kg 面積 14,000㎡	10a当たり収量 4,314kg/10a 収量 60,400kg 面積 14,000㎡	10a当たり収量 3,902kg/10a 収量 68,300kg 面積 17,500㎡	10a当たり収量 5,001kg/10a 収量 87,522kg 面積 17,500㎡	10a当たり収量 4,565kg/10a 収量 148,000kg 面積 32,420㎡	155.6%	10aあたりの収量は5,001kg/10aとなり、計画時より32.3%増加した。	▼【野菜】▼(単位収量あたりの販売額)▼1kg当たりの販売額を1,035円/kg以上(15%増加)とする	単位収量当たり販売額 900円/kg 販売額 47,652,660円 収量 52,947kg	単位収量当たり販売額 925円/kg 販売額 55,870,000円 収量 60,400kg	単位収量当たり販売額 908円/kg 販売額 62,016,400円 収量 68,300kg	単位収量当たり販売額 1,020円/kg 販売額 89,272,440円 収量 87,522kg	単位収量当たり販売額 1,035円/kg 販売額 153,180,000円 収量 148,000kg	88.9%	1kgあたりの販売額は40円となり、計画時より13.3%増加した。	生産技術高度化施設(低コスト耐候性ハウス)42棟 18,420㎡ 有機物処理・利用施設(堆肥等生産施設)250㎡	154,985,400	71,752,000	17,938,000	17,939,000	47,356,400	R1.3.29	単収については目標を達成できた。1kgあたりの販売額については、新型コロナウイルスの拡大による外食・中食等の業務用需要が減少し、達成できなかった。今後は、一般消費向けの新たな商品開発等を行い目標達成を目指す。	栽培面積については、排水不良により使用できない農地があるため集水溝を設置し排水を改善する。販売については、新型コロナウイルスによる商品開発と販路開拓を行う。	固定単価による取引のため、価格補正はしない。
臼杵市	大分県農業協同組合	野菜(いちご)	10a当たり収量 5,257.5kg/10a 収量 6,309kg 面積 1,860㎡	10a当たり収量 3,562.9kg/10a 収量 30,392kg 面積 8,530㎡	10a当たり収量 3,590.3kg/10a 収量 30,625kg 面積 8,530㎡	10a当たり収量 6,309.0kg/10a 収量 54,283kg 面積 8,604㎡	-158.60%	10aあたりの収量は3,590.3kg/10aとなり、計画時より31.7%減少となった。	▼【野菜】▼(契約取引の割合)▼契約取引の割合を70.48%以上(33ポイント増加)とする。	契約取引割合 37.48%	契約取引割合 81.87%	契約取引割合 62.71%	契約取引割合 70.48%	76.50%	契約取引割合は62.71%となり、計画時より25.23ポイント増加した。	生産技術高度化施設(低コスト耐候性ハウス)3棟 6,744㎡	171,363,600	79,335,000	19,833,000	19,835,000	52,360,600	R1.9.25	新品種ベリーツへ転換したが、まだ栽培技術が定着しておらず、単収については目標達成はできなかった。また、新型コロナウイルスの影響によりギフト向け需要が激減し、契約数量時に比べ増加したが目標達成はできなかった。今後は、講習会の開催や関係機関による園地巡回の回数を増やす等に取組りくみながら、単収向上を図っていく。	新品種の栽培技術向上が必要である。関係機関で連携して、単収向上に向けた技術指導を行っている。			

都道府県平均達成率	77.60%	総合所見 本県において、本年度の事業評価の対象となったのは3地区であり、2つの成果目標を達成した地区は1地区、1つだけ達成した地区は1地区、両方とも未達成であった地区は1地区であった。 成果目標が未達成となった地区の主な要因は次のとおり。 ①10aあたり収量は増えたが、新型コロナウイルス感染症の影響で業務用の需要が減り、販売単価の向上を図ることができなかった。 ②いちごの県オリジナル品種「ベリーツ」の作付けに取り組んだが、栽培技術が定着しておらず単収の増加を図ることができなかった。また新型コロナウイルス感染症の影響でギフト向け需要が減少し、契約取引の拡大に至らなかった。 なお、成果目標が未達成の事業実施主体については、今後、改善計画の策定及びその実践を指導するなど、地元市町村と連携して目標達成に向けた取組を推進する。
-----------	--------	--

II 食品流通の合理化を目的とする取組用

		成果目標Ⅰ								成果目標Ⅱ								(大分県 令和2年度)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考					
市町村名	市場名	事業実施主体名	取組の分類	メニュー	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	メニュー	事業実施後の状況					成果目標の具体的な実績	事業内容(施設区分、構造、規模等)	事業費(円)	負担区分(円)										
					計画時(平成27年)	1年後(平成30年)	2年後(R1年)	3年後(R2年)	目標値(R2年)			達成率	計画時(平成28年)	1年後(平成30年)	2年後(R1年)	3年後(R2年)				目標値(R2年)	達成率					交付金	都道府県費	市町村費	その他	
佐伯市	佐伯青果卸売市場協同組合	佐伯青果卸売市場協同組合	地方卸売市場設備	安全・安心な市場流通	品質管理の高度化(卸売市場品質管理マニュアルに基づく規範の策定及び実施)	マニュアル・規定なし(平成27年)	卸売市場品質管理高度化マニュアルを策定し、実施	-	-	卸売市場品質管理高度化マニュアルを策定し実施	100%	品質管理高度化マニュアルに基づく規範の策定及び実施により、衛生管理、品質保持の強化が図られた。	卸売市場の再編	統合・市場間連携による地方卸売市場の再編(取扱量を目標年度における推計値より増加)3つの市場が統合	R2 取扱量推計値 2,826t	取扱量推計値 2,212t	取扱量推計値 2,328t	取扱量推計値 2,264t	R2 取扱量目標値 4,549t	-32.6%	大手取引先の仕入れ先変更等により、目標とした取扱量の49.8%にとどまっております。達成率は△32.6%となっております	8,041,314	2,476,000	0	0	5,565,314	H29.3.9	品質管理の高度化については、規範の策定と実施により衛生管理、品質保持の強化が進んでいる。一方で取扱量については、目標の達成に向けて、量販店向け野菜・果実のパッケージ対応等、新たな取り組みにより販売強化を図る。	品質管理の高度化は、規範の策定・実施ができており目標を達成。取扱量については、市場統合直後に、大手取引先が仕入れを変更するなど予見し難い原因により計画通りに進捗していない。そのため改善計画に基づき、パッケージ機能の追加による取引先の拡大や、地元と連携した市場の活性化など新たな取り組みを確実に実施するよう指導していく。	
																					251,637,242	76,001,000	0	0	175,636,242	H30.2.28				

都道府県平均達成率 50.0% 総合所見 品質管理の高度化は、規範の策定・実施ができており目標を達成。取扱量については、市場統合直後に、大手取引先が仕入れを変更するなど予見し難い原因により計画通りに進捗していない。そのため改善計画に基づき、パッケージ機能の追加による取引先の拡大や、地元と連携した市場の活性化など新たな取り組みを確実に実施するよう指導していく。

- (注) 1 別紙様式1号の2のIIに準じて作成すること。
- 2 別添として、各事業実施主体等が作成した事業実施状況報告書を添付すること。
- 3 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。
- 4 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。
- 5 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。